

やすらぎ

平成26年12月発行



医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院
芙蓉ミオ・ファミリア町田
グループホームあおぞら
デイサービス ふれあいルーム
千葉芙蓉病院
きゃらの樹ケアセンター

ふよう病院

9月院内職員研修会報告『医療安全について』

内容：医療安全についてのDVD視聴

- 視聴内容：
1. 医療安全の目的
 2. ヒヤリハットとは
 3. リスクの把握
 4. リスクの分析と対応
 5. まとめ

まとめ：ヒヤリハットレポートは業務の中に定着している報告書ですが、ともすれば形式的、マンネリ化しがちです。本来の目的を再確認し初心に立ち返る機会として研修会では何年かに一度は取り上げています。

10月院内職員研修会報告『インフルエンザについて』

発表者：行野先生

- 内容：
1. インフルエンザに追随する異常行動
 2. 医療用漢方エキス製剤・麻黄湯
 3. インフルエンザウィルスの分類
 4. インフルエンザ感染から発症まで
 5. 感染経路別予防策
 6. ハイリスク群とは？
 7. 新型インフルエンザとは？
 8. 最新知識とトピックス

まとめ：今年もインフルエンザの予防接種の季節となりました。毎年の事ですが一番の予防策として、予防接種と同時に、知識も予防の一助となると考え、勉強会として取り組み「インフルエンザにかからない」「うつさない」努力をしています。

新人職員研修会

開催日 平成26年10月17日(金)
場 所 A棟2階 リハビリ室にて
対象職員 平成25年12月1日～平成26年
7月30日までに入職された職員
対象人数 35名中24名参加
内 容 院長・看護部長・事務局長・理事長
挨拶、幹部紹介(一部)、質疑応答

新人職員が参加し、新人職員研修会を開催致しました。

【概要】

院長：当院(療養型)の現状や患者層等についての説明

看護部長：看護部の紹介

事務局長：当法人が運営している各事業所についての概要説明

理事長：当法人の年譜の説明、創業からの理念である「老人は国の宝」について説明



新人職員研修会を通じ、当法人について今まで以上に理解頂けたと思います。縁あってご入職いただいた職員の皆様には少しでも長く勤務して頂くと共に、より一層のご活躍を期待しています。

次回開催 成27年5月頃予定

対象職員 平成26年8月1日から平成27年3月末日入職の方



第 25 回運営懇談会

10月4日(土)14時から、芙蓉ミオ・ファミリア町田3階食堂兼機能訓練室において、第25回運営懇談会が行われました。

運営懇談会とは行政の指導では「ご入居者のうちの要介護者等についてはその身元引受人等に対し出席を呼びかけ、ご入居者の状況、サービス提供の状況及び管理費、食費の収支等の内容を定期的に報告し、説明するとともに、ご入居者の要望、意見を運営に反映させるよう努めること」とされており、芙蓉ミオ・ファミリア町田では年3回開催しています。

今回は9名のご家族が出席されました。施設長よりご入居者の概要や運営及び職員の状況等の報告があり、看護科長よりご入居者への医療

面等の対応についての説明のあと、「味覚と臭覚」のお話がありました。ケアマネジャーから要介護度別のご入居者の傾向やその対応についての説明、介護主任からはご入居者の日常の様子をご報告しました。

最後に、最近ご入居されたご入居者のご家族様からお言葉をいただき閉会いたしました。



昼食バイキング

10月31日は年に一度のバイキングでした。その日だけはご入居者の皆様に「好きな物を好きなだけ！」召し上がっていただけるので、スタッフもうれしい昼食時間です。舟盛りのお刺身やグラタン、煮物、サンドイッチ等々・・・デザートまで揃い楽しいひと時を過ごして頂くことができました。



職業体験

11月末の2日間、近くのつくし野中学校の生徒さん2名が職業体験に来てくれました。

緊張しながら一生懸命ご入居者の居室内にタオルを配ったり、ご入居者の皆様と体操をしたり音楽を楽しんだりしてくれました。

「疲れて家に帰ったら、ぐったりです」と爽やかな笑顔で話してくれました。



小学生との交流会

10月21日（水）毎年恒例になっている「南第一小学校3年生との交流会」に参加してきました。生徒さんから手を取ってもらい、体育館に案内され会が始まりました。リコーダー演奏や踊りを披露していただき、あおぞらのご

入居者からは昔遊びのお手玉、おはじき、折り紙を生徒さんに教えながら一緒に楽しみました。ご入居者は生徒さんの姿を見かけると「頑張ってるね、おばちゃんも応援してるよ、よくできたね、ありがとう」等、自然に色々な言葉がでてきます。生徒さんもご入居者も心温まるひと時でした。



ご入居者と一緒にストレッチ体操を毎日行っています。

毎月第三水曜日にご入居者がお茶をたて、地域の方々とお茶会をしています。この日は様々な話題で大笑い。お仲間を募集しています！



ふれあいバイキング

10月31日（金）「ふれあいバイキング」を開催いたしました。

お部屋も開放的で、スタッフの張り切る様子をご利用者に伝わったせいか「楽しい」との声も聞かれ、色とりどりのご馳走が運ばれると笑顔がこぼれていました。ご自分でお好きな料理

を取りに行っていていただき、取りにいかれない方にはスタッフがご希望の物をお取りしました。皆さん「美味しい」といつもより食が進んだようでした。

午後にはスタッフによる三味線演奏、南京玉すだれ、お手製着ぐるみと一緒にドジョウすくい踊りで盛り上がり、にぎやかで笑顔のあふれる一日となりました。



メニュー一部ご紹介：豚ひれ肉とトマトのソテー・お刺身盛り合わせ・手作りサンドイッチ

その他開催行事

○芋きんとん作り 11月14日（金）

おやつとして「さつまいものきんとん」作りに初挑戦！完成までの全工程をご利用者と一緒に、美味しいきんとんができあがりました。

○银杏並木ドライブ 11月17日（月）～22日（土）

つきみ野周辺の银杏並木をご利用者と一緒にドライブしました。

○ピアノコンサート 11月19日（水）

恒例のピアノコンサートを行い、ハンドベルでクリスマスソングを奏でました。

院内研修 『感染対策』

日に日に寒さが増してきました。インフルエンザやノロウイルスなど、気になるニュースが聞こえてくる季節です。

私たちの病院の患者様は体力・免疫力が低下していて、もしも罹患したら重症化してしまうおそれがあります。その点に重きをおいて、毎年、職員研修会を行っています。

『感染源（細菌、ウイルス、微生物やそれを保有する人や物）を完全になくすことは不可能』という考え方から、感染経路を断ち切る（遮断する）ことが有効です。それにより、感染を防止できるのです。

具体的には、咳エチケット。咳やくしゃみをティッシュでおさえたりマスクをすることで、飛沫感染を防ぎます。又、手洗い（流水での手洗いや擦式手指消毒剤によるもの）で接触感染を防ぎます。ケアの前後に行います。



院内研修 『手指衛生の5つのタイミング』

- ① 患者様に触れる前
- ② 清潔・無菌操作の前
- ③ 体液暴露リスクの後
- ④ 患者様に触れた後
- ⑤ 患者様の周辺の物品に触れた後

基本的なことと思われませんが、それが一番の予防だそうです。感染防止を心がけ、今年の冬も無事乗り切りましょう。



託児所を新築中

きゃらの樹ケアセンター横に医療法人の託児施設を建築中です。ウッドデッキには既存の「も

みじ」の木を活かし、自然と調和する造りになっています。子供たちの笑い声がこだまし、きゃらの樹のご利用者の方々にもきっと良い作用があると思います。



「食べやすい食事づくり」研究

試作料理名：

茹でキャベツの味噌マヨ和え（4人分）

材料

キャベツ・・・ 400g
 カットワカメ・・・ 50g
 千切り紅生姜・・・ 少々
 A: マヨネーズ・・・ 45g
 味噌・・・ 20g
 酢・・・ 15cc

作り方

- (1) キャベツは洗って食べやすい大きさに切り、茹でてザルにあげる。
- (2) ワカメは水で戻したものを茹でてザルにあげておく。
- (3) ボールに、Aの材料を混ぜ(1)のキャベツをよく絞って加える。(2)のワカメも加えて和える。
- (4) 皿に盛り付けて紅生姜をのせる。

工夫した点

野菜は和えると水分が出てくるので強めに絞

り水気を取りました。和え物は普段ドレッシングが多いですが、今回は味付けを変えてみました。

栄養士から一言

キャベツは季節に合わせた品種が出荷されており、春キャベツは内部まで黄緑色を帯びてみずみずしく生食用として適していますが、冬キャベツは加熱してもくずれず甘みが増し風味がでます。これから寒くなる季節にキャベツを使用した煮込み料理などを作るのも良いと思います。

感想

キャベツは軟らかく食べやすかった。酸味が少ないので、酢の嫌いな人でも食べられそう。



千葉医療法人で合同防災訓練

千葉では大規模災害に備えて、9月は千葉芙蓉病院、10月はきやらの樹ケアセンターを舞台に合同で防災訓練を行いました。今回の想定は短期記録的集中豪雨によって停電し、物流も停止、陸の孤島と化した場合の訓練です。近頃

は予想をはるかに超える災害が各地で相次ぎ、再検討が必要とされています。当地は固い岩盤に立地し、海拔も40メートル近くあるので津波や冠水はないと思いますが、のどかな山あいの為、火災をはじめ、停電、道路の寸断などいざという時の備えは日頃から危機感をもって準備をしています。

